環 境 経 営 レ ポ ー ト

2023年度
（対象期間：2022年9月～2023年8月）

株式会社　丸江商事

発行日　　2023年11月20日
改定日　　2023年12月14日

目　　次

	頁
１．環境経営方針	1
２．全組織の概要	2
３．認証・登録の対象組織・活動	3
４．環境経営目標	4
５．環境経営目標達成評価・記録表	5
６．環境経営計画及び実績評価	6
環境経営計画及び 実績評価	7
7.　環境経営計画の次年度の取組内容	8
8.　地域貢献・火災訓練	9
9.　実施体制及び役割・責任・権限表	10
10．環境関連法規等の遵守状況とその評価及び違反、訴訟等の有無	11
11．代表者による全体の評価と見直し結果・指示	12

１．環境経営方針

株式会社丸江商事
環 境 経 営 方 針

≪基本理念≫

私達は、産業廃棄物処理事業を運営するにあたり、まず初めに、地球環境保全を行う為の環境に関する法令を遵守します。

昨今、廃棄物処理法の改正に伴い、産業廃棄物処理業者が環境問題に向き合う姿勢は、徐々に変わってきています。
そういった中私達は、タイヤショップの運営も含めて、環境問題を考慮し３Ｒ（REDUCE・REUSE・RECYCLE)の実行により産業廃棄物を減らす、再使用する、再資源化するをモットーに、地球温暖化への取組や地域の環境活動に積極的に参加し、環境経営の継続的改善を誓約します。

≪重点項目≫

１．使用電力・自動車用燃料等使用による二酸化炭素排出量の削減を行います。

２．廃棄物は、可能な限り削減・リサイクル出来るようにし、廃棄物の最終処分量の削減に努めます。

３．水使用量の削減に努めます。

４．可能な範囲でのグリーン購入に努めます。

５．リサイクル製品の販売や、それらに関するサービスに関して、環境に配慮します。

６．エコタイヤの販売促進に努めます。

７．環境関連法規及び当社が地域社会と約束したことを遵守します。

８．環境経営方針及び環境に関する取組を全従業員に周知します。

制定日：2014年　3月24日
更新日：2021年10月30日

代表取締役社長　江川清一

２．全組織の概要

（１） 名称及び代表者名

株式会社　丸江商事
代表取締役社長　　江川清一

（２） 所在地

本　　社　　愛知県犬山市字山ノ田腰43番地1
本社工場　　愛知県犬山市高根洞18番地3
販売店（タイヤショップME）
犬山本店　　愛知県犬山市大字羽黒新田字郷東97番地3
一宮店　　愛知県一宮市松降通り8丁目23番地

（３） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　　江川　和美　　TEL：0568-67-0084　FAX：0568-67-7688
e-mai：info@marue.co.jp
担当者　　江川　和美　　同上　　同上

（４） 事業内容

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物処分業、産業廃棄物処分業（廃プラの選別・破砕・切断）
金属くず・廃プラスティック類のリサイクル業
タイヤショップの運営（新、中古タイヤ及びホイール販売）
貿易向けタイヤ販売
自動車解体業（現在業務停止中）

（５） 事業の規模

法人設立　　1994年6月29日
資本金　　1,000 万円
売上高　（2022年9月～2023年8月）　　120,000 万円
従業員数・床面積

	本社工場	本社（事務所）	タイヤショップ犬山本店	タイヤショップ一宮店
従業員	22名	3名	8名	4名
延べ床面積	5107㎡	140㎡	690㎡	486㎡

収集運搬量及び中間処理量（2022年9月～2023年8月）

処理	産業廃棄物（廃タイヤ）	購入中古タイヤ
収集運搬量　（ｔ）	4,322	2,145
中間処理量　（ｔ）	4,322	2,145
最終処分量　（ｔ）	0	0
中間処理後処分量　（ｔ）	0	272(全量リサイクル化)

（６）施設内容

①-1車両台数（本社・本社工場）

車種	台　数	備　　考
貨物・軽車両	5	貨物・軽貨物
2t～4ｔ車	4	2ｔ～4ｔ　貨物
10ｔ車	6	７～８ｔ　貨物
乗用車	5	営業用車両
ショベルローダー	1	2.5t
フォークリフト	6	2.5t×2台　　3ｔ×3台　4.5t×1台
合計	27	

①-2車両台数（タイヤショップ）

車種	台　数	備　　考
貨物・軽車両	3	貨物・軽貨物
2t～4ｔ車	2	2ｔ～4ｔ　貨物
合計	5	

②-1主要設備（本社・本社工場）

名称	基　数	処理能力	備　　考
破砕機	1	4t/日	タイヤ破砕用　75KW+19.8KW/コンベア
切断機	2	17.6t/日　21.6t/日	タイヤ切断用　12KW　18.7KW
コンプレッサー	1		ホイル抜き用　4KW
タイヤチェンジャー	2		ホイル抜き用　13KW
ホイルプレス機	1		ホイル抜き用　0.75KW
ダブリング機	1		ダブリング用　0.75KW
合計	8		

②-2主要設備（タイヤショップ）

名称	基　数	処理能力	備　　考
コンプレッサー	1		ホイル抜き用　4KW
タイヤチェンジャー	4		ホイル抜き用　13KW
合計	5		

(7) 積替え・保管施設

面積	71.2㎡
容積	44.2㎥

(8) 事業年度　　9月～8月

３．認証・登録の対象組織・活動

(1)　組織・活動

①

登録組織名	株式会社　丸江商事	
対象事業所	本　　社	愛知県犬山市字山ノ田腰43番地1
	本社工場・駐車場	愛知県犬山市高根洞18番地3
	積替保管場所	愛知県犬山市高根洞18番地3
対象従業員数	25名	
活動範囲	産業廃棄物の収集運搬業及び中間処理業、リサイクル業	

②

登録組織名	株式会社　丸江商事	
対象事業所	タイヤショップME 犬山本店	愛知県犬山市大字羽黒字郷東97番地3
	タイヤショップME 一宮店	愛知県一宮市松降通り8丁目23番地
対象従業員数	13名	
活動範囲	タイヤ・ホイル販売	

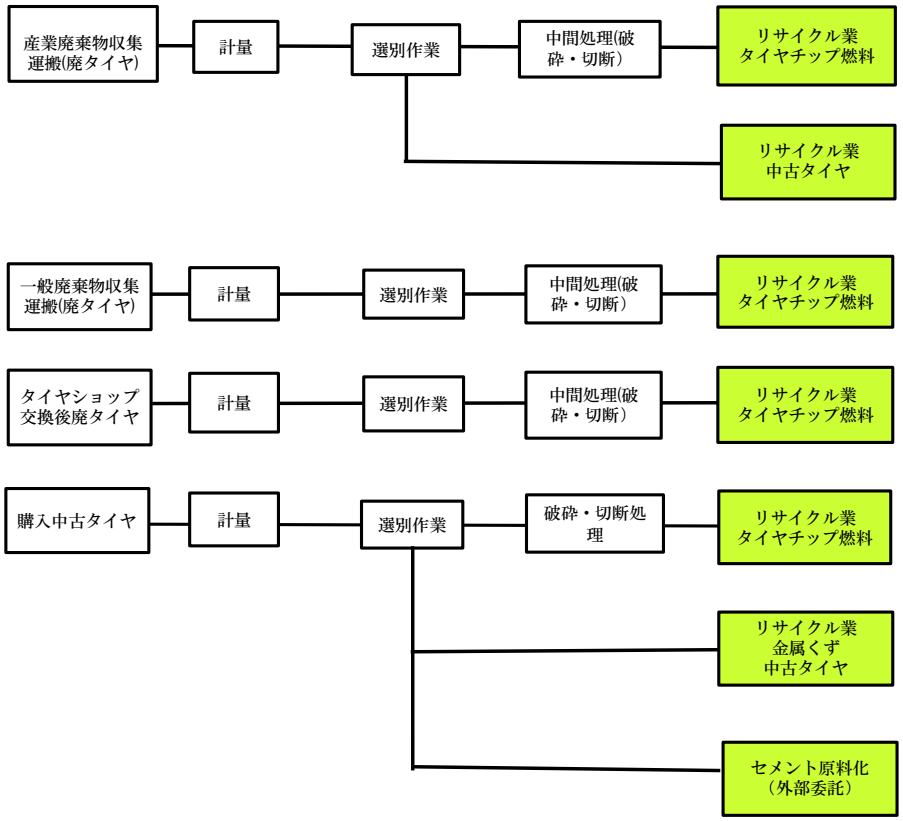
（２）　許可・登録の内容

種類	発行者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	産業廃棄物の種類					
							その他の種類			
					廃プラ類	金属くず	ガラスくず	コンクリートくず	陶磁器くず	
一般廃棄物処理業	犬山市	犬山市指令第497号	2023年4月1日	2025年3月31日	●					
一般廃棄物収集運搬業	犬山市	犬山市指令第496号	2023年4月1日	2025年3月31日	●	●		●		
産業廃棄物中間処理業	愛知県	第02320038311号	2023年11月14日	2028年9月7日	●					
産業廃棄物収集運搬業	愛知県	第02310038311号	2021年3月25日	2026年3月18日	●	●		●		
産業廃棄物収集運搬業	岐阜県	第02100038311号	2019年5月28日	2024年4月26日	●	●		●		
産業廃棄物収集運搬業	静岡県	第02201038311号	2022年4月2日	2027年4月1日	●	●		●		
産業廃棄物収集運搬業	滋賀県	第02501038311号	2021年6月30日	2026年5月29日	●	●		●		
産業廃棄物収集運搬業	福井県	第01807038311号	2023年4月28日	2028年4月3日	●	●		●		
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02700038311号	2023年3月30日	2028年3月29日	●	●		●		
産業廃棄物収集運搬業	長野県	第02009038311号	2020年8月23日	2025年8月22日	●	●		●		
産業廃棄物収集運搬業	三重県	第02400038311号	2021年6月24日	2026年5月7日	●	●		●		

（３）処理料金

処理料金については、引取場所、品目等により異なりますので、事務部（電話：0568-67-0084）
迄お問い合わせ下さい。

（４）廃タイヤ・購入中古タイヤ処理フロー



４．環境経営目標

基準年度（2017年9月～2018年8月）

		実績（’17/9～’18/8）を基準値とする	
売上高		59.2	千万円
廃タイヤ、購入中古タイヤ取扱い量		7,210	t
	電力使用量	190,441	kWh
	軽油使用量	43,165	L
	ガソリン使用量	6,649	L
	灯油使用量	1,966	L
二酸化炭素排出量		219,085	kg-CO_2
一般廃棄物量搬出量		4,588	ｋｇ
水使用量		846	㎥
事務用品のグリーン購入		5	件
受託産廃のリサイクル率		100	%
設備故障件数の低下		1	件

中長期目標

2023年度（2022年9月～2023年8月）

年　　度			基準値	2022年度	2023年度	2024年度
期　　間			2018年度	’21/9～’22/8	’22/9～’23/8	’23/9～’24/8
目標項目		目標＊1 ＼ 単位	100%	96%	95%	94%
	電力使用量	kWh	190,441	182,823	180,919	179,015
	軽油使用量	L	43,165	41,438	41,007	40,575
	ガソリン使用量	L	6,649	6,383	6,317	6,250
	灯油使用量	L	1,966	1,887	1,887	1,848
二酸化炭素排出量削減		kg-CO_2	219,085	210,322	208,131	205,940
一般廃棄物排出量削減		ｋｇ	4,588	4,404	4,359	4,313
水使用量の削減		m^3	846	821	804	795
事務用品のグリーン購入件数		件	5	6	6	6
受託産廃のリサイクル率向上 *2		%	100	100	100	100
設備故障件数の低下*3		件	1	1	0	0
エコタイヤの販売促進*4				エコタイヤの情報提供	エコタイヤの情報提供	エコタイヤの情報提供

＊ 中長期目標の基準値に2018年度を使用します。
＊ 化学物質(PRTR対象物質）の使用はありません。
＊ 電力使用量から二酸化炭素への換算係数は、中部電力2019年度0.459ｋｇ－CO_2/ｋＷｈを使用。
＊ グリーン購入は、購入実施件数を目標値とします。
＊1 環境目標は、対基準年度の値に対する比率を表す。
＊2 受託産廃のリサイクル率は常に100％を目標にします。
＊3 期間内の設備の故障件数を把握する事で、点検等充実させ稼働年数の長期化を目指します。
＊4 2021年度よりエコタイヤの販売促進を目標に追加します。

５．環境経営目標達成評価・記録表

対象期間　2022年9月～2023年8月

年　　度			基準値 2018年度	目標／実績 2023年度	評価基準	○100％以上　△１００％未満　×70％未満
売上金額（千万円）			59.2	120.0	実績・評価	
廃タイヤ・購入中古タイヤ取扱い量（ｔ）			7,210	6,467		
目　　標			100%	95%		
	電力使用量	目標値（kWh）	ー	180,919	△	購入タイヤの処理量が増えているが、設備の入れ替えで電力使用量を抑えられた。
		実　績	190,441	181,844		
		達成率％　*1	ー	99		
	軽油使用量	目標値　（L）	ー	41,007	△	顧客数増加で回収範囲が拡大し、走行距離が増えている。継続して回収ルートの見直し等で経過を見ていきたい。
		実績値　　L）	43,165	48,117		
		達成率％	ー	85		
	ガソリン使用量	目標値　（L）		6,317	○	目標は達成できている。引き続きエコドライブを意識しながら経過を見たい。
		実績値　（L）	6,643	4,220		
		達成率％	ー	150		
	灯油使用量	目標値　（L）	ー	1,868	○	エアコンとの併用で使用量を抑制できた。今後も電気量とのバランスや、床にマットをひくなどし熱を逃さない工夫を試みる。
		実績値　（L）	1,966	940		
		達成率％	ー	199		
二酸化炭素排出量削減		目標値（kg-CO_2）	ー	205,940	△	全般に使用量が抑えられているが、軽油が基準比11％増加してしまったので、総量で基準年と同レベルとなった。当面このまま継続で様子を見る。
		実績値（kg - CO_2）	219,085	219,739		
		達成率％	ー	94		
一般廃棄物排出量削減		目標値　（kg）	ー	4,359	○	目標達成できた。引き続き教育等で意識向上を計りながら、電子での保管による紙使用の削減にも心掛ける。
		実績値　（kg）	4,588	4,290		
		達成率％	ー	102		
水使用量の削減		目標値　（m^3）	ー	804	○	水使用量は頻繁に注意を促している。今後も継続していきたい。
		実績値　（m^3）	846	667		
		達成率％	ー	121		
事務用品のグリーン購入量増加　件数		目標値（件数）	ー	6	○	再生品の購入だけではなく、裏紙利用や使用済み封筒の再利用など、できる事を積極的に行う。
		実績値（件数）	5	6		
		達成率％	ー	100		
受託産業廃棄物のリサイクル率の向上　*2		目標値　（％）	ー	100	○	概ね燃料用タイヤチップとしてリサイクルしているが、セメント原料化として外部へも委託している。
		実績値　（％）	100	100		
		達成率％	ー	100		
設備故障件数の低下		目標値（件数）	ー	0	○	定期的なメンテナンスと、適切な運転をすることで電力削減と故障率の低下を目指します。
		実績値（件数）	1	0		
		達成率％	ー	100		
エコタイヤの販売促進*3		目標値（件数）	ー	エコタイヤの情報提供	○	エコタイヤの情報を提供する事で、環境に考慮した商品を選んでもらえるよう努力します。
		実績値（件数）	ー			
		達成率％	ー			

＊ 化学物質の使用はありません。

＊ 電力使用量から二酸化炭素への換算係数は、中部電力2019年度0459g-CO2/kWhを使用

＊1　目標に対する実績の達成率です。
＊2　受託産廃のリサイクル率は常に100％を目標にします。
＊3　2021年度よりエコタイヤの販売促進を目標に追加します。

６．環境経営計画及び実績評価

1．二酸化炭素の削減		実績・評価	
（1）電気使用量の削減	部署責任者	本社 ME犬山 ME一宮	江川和美 村上潔 豊田忍
・空調温度の適正化（冷房27℃・暖房22℃）		○	適切な温度で使用している。
注）・休憩時・昼休みの消灯		△	概ね実行できている。
・照明器具（12月）・空調器具の適時整備		○	季節ごとに整備できている。
＊・切断機・破砕機の待機時間の短縮化		○	常時心掛けるよう担当者へ声掛けをする。
・自動販売機の夜間電源OFF		○	自動電源ON OFF機能を利用している。
・老朽化した照明器具・空調機器の入れ替えを検討		△	徐々に進めている。
（2）液体燃料の削減（ガソリン・軽油・灯油）	部署責任者	本社 ME犬山 ME一宮	高木健一 村上潔 豊田忍
・アイドリングストップの実施		○	責任者が常時注意を促している。
・タイヤの空気圧の定期チェック		○	責任者が常時注意を促している。
・急発進・急加速の防止		○	責任者が常時注意を促している。
＊・効率的収集運搬ルートの実施		○	運転手と担当者でルート検討している。
・負荷の少ない車両への入れ替えを検討		△	順次新車へと入替予定。
・終業前早目のストーブ等の使用停止（余熱の活用）		○	常時心掛けている。
2．廃棄物排出削減			
（1）一般廃棄物	部署責任者	本社 ME犬山 ME一宮	江川和美 村上潔 豊田忍
・持ち込まない		○	努力できている。
・廃棄物の分別実施		○	実施できている。
・コピーの裏面活用		○	出来る限り活用している。これからも続けていきたい。
・廃棄印刷紙のメモ紙活用		○	実施できている。
・簡易包装品の購入		○	意識して購入に努めている。
（2）産業廃棄物	処理部署責任者	本社	吉門龍二
＊・分別・リサイクルの徹底		○	実施できている。
（3）受託廃棄物	処理部署責任者	本社	吉門龍二
＊・分別リサイクルの徹底		○	徹底できているので、これからも続けていきたい。
＊・中間処理後の全量リサイクル原料化		○	一部はセメント原料化として外部へ委託している。
3．設備の故障件数の低下	部署責任者	本社	江川清一
・故障原因の把握	江川清一	○	故障時の状況を明確にする事で原因を把握できた。
・機械の定期的なメンテナンス		○	部品などを早めに修繕・研磨することで機械の負荷を軽減できた。
・老朽化した機械の入替検討		△	順次入替検討中。
4．水道水の使用量削減	部署責任者	本社	江川清一
・老朽化が原因の水漏れの早期発見と修理	江川和美	○	消費量などに異常がないかチェックする。
・節水意識高揚の為の張り紙実施	江川和美	○	引き続きポスターを張り、継続的な節水を心掛けていきます。
・使用後の蛇口の閉め忘れ防止の徹底	村上　潔	○	閉め忘れなど、殆どありませんでした。
	豊田　忍		
5．事務用品のグリーン購入量増加	事務局責任者	本社	小河原佳澄
・エコ商品の購入	小河原佳澄	○	エコ商品の購入に努めた。グリーン購入だけではなく詰め替え式など購入を減らす工夫をしている。書類の電子保存については、請求書・見積書などの電子送受信などで段階的に進めている。
・簡易包装品の購入	豊田　忍	○	
・詰め替え式の商品の購入		○	
・裏紙使用、封筒の再利用		○	
・各書類等の電子保存を推奨		△	
6.　エコタイヤの販売促進	販売部		夏用タイヤは殆どがエコタイヤで対応している。冬用タイヤについても情報提しながら需要を増やしていく。
・エコタイヤの情報提供	村上　潔	○	
	豊田　忍		

・ 当社は化学物質の使用はありません。
・ 事業活動に伴う産業廃棄物はありません。
＊ 印はタイヤショップには該当しません。
注） 休憩時の消灯に関しては、訪問客の出入りがある為事務所の一部では行っていない。

評価基準

○	良く実施した。
△	少し実施した。
×	実施できなかった。

実績評価

環境目標活動はほぼ実行できた。

休憩時の消灯に関しては訪問客の出入りがある為、事務所の一部では行っていない。

一般廃棄物排出量は、達成できているので更に減らすよう取り組みたい。

エコ商品の購入に関しては価格が高いものもや、見映えが良く無い物があるので、

実用性など比較しながら取り組んでいきたい。

購入商品だけでなく、不用品の再利用や電子保存など紙の不使用も進めていきます。

７．環境経営計画の次年度の取組内容

1．二酸化炭素の削減	
（１）電気使用量の削減	部署責任者
・空調温度の適正化（冷房27℃・暖房22℃）	江川和美 村上潔 豊田忍
・休憩時・昼休みの消灯	
・照明器具（12月）・空調器（夏季及び冬季）の適時整備	
・切断機・破砕機の待機時間の短縮化	
・自動販売機の夜間電源OFF	
*・全照明器具のLED化	
（２）液体燃料の削減（ガソリン・軽油・灯油）	部署責任者
・アイドリングストップの実施	江川和美 村上潔 豊田忍
・タイヤの空気圧の定期チェック	
・急発進・急加速の防止	
・効率的収集運搬ルートの実施	
・負荷の少ない車両への入れ替えを検討	
・終業前早目のストーブ等の使用停止（余熱の活用）	
２．廃棄物排出量削減	
（１）一般廃棄物	部署責任者
・持ち込まない	江川和美 村上潔 豊田忍
・廃棄物の分別実施	
・コピーの裏面活用	
・廃棄印刷紙のメモ紙活用	
・簡易包装品の購入	
（２）産業廃棄物	処理部署 責任者
・分別・リサイクルの徹底	吉門龍二
（３）受託廃棄物	処理部署 責任者
・分別リサイクルの徹底	吉門龍二
・中間処理後の全量リサイクル原料化	
3.設備の故障件数の低下	処理部署 責任者
・故障原因の把握	江川清一
・機械の定期的なメンテナンス	
・老朽化した機械の入替検討	
４．水道水の使用量削減	部署責任者
・老朽化が原因の水漏れの早期発見と修理	江川和美 村上潔 豊田忍
・節水意識高揚の為の張り紙実施	
・使用後の蛇口の閉め忘れ防止の徹底	
５．事務用品のグリーン購入量増加と全体の購入量の削減	事務局責任者
・エコ商品の購入	小河原佳澄
・簡易包装品の購入	
・詰め替え式の商品の購入	
・裏紙使用、封筒の再利用	
・各書類等の電子保存を推奨	
6.　エコタイヤの販売促進	販売部責任者
・エコタイヤの情報提供	村上潔 豊田忍

*印は変更したチェック項目です。

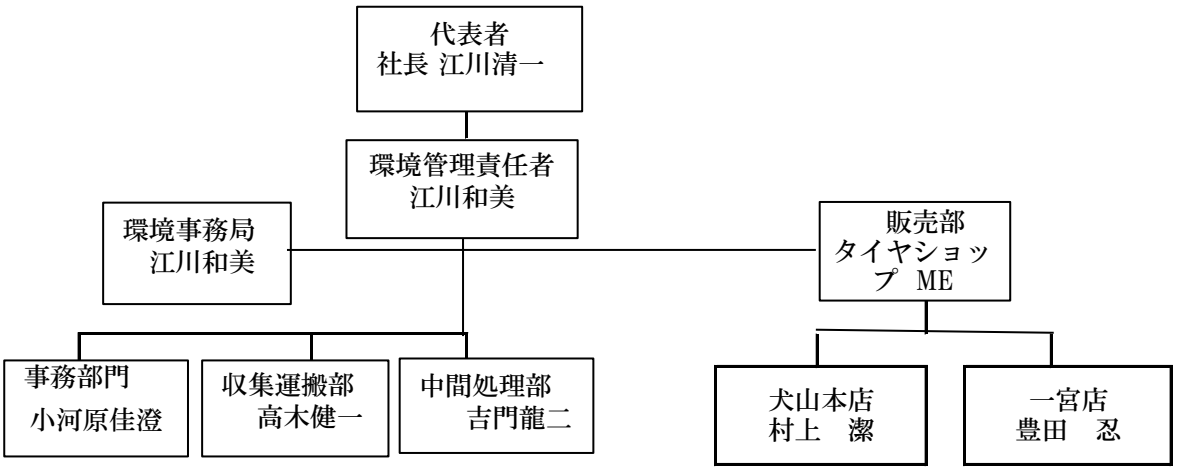
8.　地域貢献・火災訓練の様子

＊ 町内清掃に協力

＊ 火災訓練の様子　　実施日：2023年6月19日

9．実施体制及び役割・責任・権限表

対象範囲



役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し・全従業員への周知 ・環境経営目標及び環境経営計画の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施、管理 ・環境法規の取りまとめ表のチェック・承認 ・環境経営目標及び環境経営計画の確認・修正 ・エコアクション２１システムの推進 ・環境経営計画の取組結果の代表者への報告 ・環境経営計画レポートの作成
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェック ・環境経営目標・環境経営計画の作成 ・環境経営計画の実績指標作成 ・環境関連法規の取りまとめ表の作成と遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
各部門責任者	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員への教育訓練の実施 ・関連活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚 ・関連する環境経営目標の理解 ・関連する環境経営計画に実行と環境経営活動への自主的 且つ、積極的な参加

10．環境関連法規等の遵守状況とその評価及び違反、訴訟等の有無

承認	作成
江川和美	小河原佳澄
環境管理責任者	環境事務局

遵守評価日　2023年11月1日
改　定　日　2023年11月1日

法令	対象	条例等要求事項	法規制確認実施頻度	届出・報告			担当者	遵守評価	
				許可	届出・報告	届出先		証拠	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物	・収集運搬業許可の取得（第7条第1項） ・処分業許可の取得（第7条第6項）	１回/2年	○	○	犬山市	事務局	許可証	○
		・一般廃棄物の処分は許可取得業者へ委託（第6条2の第6項）	廃棄時	ー	ー	ー	事務局	ー	○
		・一般廃棄物処理状況報告書の提出（犬山市条例施行規則18条）	１回/年	○	○	犬山市 環境課	事務局	報告書控	無.
	産業廃棄物	・収集運搬業許可の取得（第14条第1項） ・処分業許可の取得（第14条第6項）	1回/5年	○	○	都道府県	事務局	許可証	○
		・産業廃棄物処理状況報告書の提出（細則10条3項）	１回/年	○	○	都道府県	事務局	報告書控	○
		・収集運搬時の車両への表示、許可証写し ・マニフェストの携帯（法6条）	毎時	ー	ー	ー	収集運搬責任者	許可証 マニフェスト	○
		・契約書の締結（法12条）	1回/年	ー	ー	ー	事務局	契約書	○
		・マニフェスト管理に遵守（法12条の3） ・産業廃棄物処理基準の遵守（第14条12項）	1回/年	ー	ー	ー	事務局	マニフェスト マニフェスト台帳	○
		・産業廃棄物の適正な処理の促進に関する条例（第7条）	1回/年	ー	ー	ー	事務局	マニフェスト	○
家電リサイクル法	家電品（エアコン、 テレビ、冷蔵庫等）	・特定事業者への引き渡しリサイクル料金の支払い（法6条）	廃棄時	ー	ー	ー	事務局	リサイクル券	無
小型家電リサイクル法	小型電子機器 28品目	・分別・再資源化業者に引き渡す（法7条）	廃棄時	ー	ー	ー	事務局	ー	無
自動車リサイクル法	廃自動車	・抹消登録　・フロンの回収　等（道運車法15～16条、53条）	廃棄時	○	ー	ー	事務局	マニフェスト	無
NOX・PM法	トラック、バン等 車両	・適合車の導入（法4条、6条） ・愛知県・岐阜県・3三重県条例	更新時	○	○	市町村	事務局	車検証 適合車マーク	○
道路交通法	車両	・安全管理者の選任	1回/年（講習受講）	ー	○	安全協会	安全運転管理者	安全管理者書	○
浄化槽法	浄化槽	・保守点検（法8条） ・清掃（法9条） ・定期水質検査（法11条）	1回/年 1回/年 1回/年	ー	○	ー	事務局	届出書 記録、検査表	○
グリーン購入法	購入品・調達品	・エコ商品、グリーンマーク商品の購入（法5条）	適時	ー	ー	ー	事務局	ー	○
消防法 （犬山市・一宮市火災予防条例）	灯油　廃タイヤ 購入中古タイヤ 新品タイヤ	・指定数未満の貯蔵及び取扱い（法30条） ・綿花類等の貯蔵及び取扱い（法34条）	常時	ー	ー	犬山市・ 一宮市 消防本部	事務局	ー	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	・エアコンの簡易点検の実施（法第16条）	1回/3ヶ月	ー	ー	ー	事務局	点検記録	○
県民の生活環境の保全等に関する条例	コンプレッサー	・設置届（25条）	設置時	○	○	犬山市	事務局	届出控	○
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	処理委託産業廃棄物	・実地確認の実施（第7条）	1回/年	ー	ー	ー	事務局	届出控	○

・2023年8月迄の環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、問題なく遵守されています。
・過去3年間、法令違反及び近隣からの苦情もなく、訴訟もありません。
・該当しない項目には一印で表示しています。

11．代表者による全体の評価と見直し結果・指示

環境管理責任者より報告を受け、実施結果について検討し、評価しました。　　実施日　2023年11月1日

見直し会議参加者　　江川清一　江川和美　吉門龍二　高木健一　小河原佳澄
村上潔　　飯田康久　豊田忍

１）前回の指示への取組結果

環境への負荷の大きい項目に、重点を置いて実施した。（電力使用量・軽油使用量）

２）目標・環境経営計画の達成状況 （詳細は環境目標達成評価・記録表及び環境活動の実績評価・記録表参照）			環境目標	○１００％以上 △１００％未満 ×７０％未満	環境活動計画	○良く実施 △少し実施 ×実施できず
目標項目	目標達成状況	環境経営計画実施状況	達成状況等に対するコメント			
電力使用量	△	○	一昨年に設備の入れ替えを行っており、その結果、徐々に達成率に近づいている。			
軽油使用量	△	○	顧客数増加で回収範囲が拡大し、走行距離が増えている。回収ルートの見直し等で経過を見ていきたい。			
ガソリン使用量	○	○	目標達成できている。引き続きエコドライブを意識し、経過を見ていきたい。			
灯油使用量	○	○	エアコンとの併用で使用量が.抑制できている。課題として夏季には涼しく、冬季には温かく保つ方法を模索する。			
二酸化炭素排出量	△	○	設備の適切な使用と、各車両の省エネ運転を教育し意識向上を計る。朝礼での呼びかけも重要。			
一般廃棄物排出量削減	○	○	今後も引き続き意識の向上をはかる。			
水使用量削減	○	○	頻繁に注意を促すことでで節水意識を継続させる。			
グリーン購入量増加	○	○	リサイクル品の購入は、価格とのバランスなど問題点もあり、できる事を行い事務作業の電子化も進めていく。			
受託産業廃棄物のリサイクル率向上	○	○	タイヤチップを細かくする事で販路拡大に努め、セメント原料として外部委託も併用していく。			
設備故障件数の低下	○	○	定期的なメンテナンスが重要。			
エコタイヤの販売促進	○	○	現在夏タイヤの殆どがエコタイヤだが、冬用タイヤも情報提供するなどエコタイヤを推奨していく。			

３）　見直しの必要性

環境経営方針　　有□　　無し■

環境経営目標・環境経営計画　　有□　　無し■

実施体制　　有□　　無し■

環境経営システム　　有□　　無し■

（是正処置による見直し以外、定期見直しは事業年度終了後）

４）代表者による全体の評価と見直し結果

・今回の活動では引き続き、電力・軽油の使用量が目標値に及びませんでした。これは10年以上使用している車両が多く、燃料消費率が高い事が挙げられます。しかしながら毎年の目標が上がっている事を考慮すると、かなり努力できていると思われます。引き続き、又更に課題を設け活動していきます。

・売上に関しましては昨年度から少し伸びています。これは海外向けタイヤの販売が順調な事と、金属の価格が安定している事によるものです。

・販売店においては引き続きエコタイヤの販売促進を継続していきます。